

【主題名】 友情、信頼

【教材名】 泣いた赤おに

【本時のねらい】

赤おにや青おにの姿を通して、友達を大切にすることについて考えさせ、友達とよりよい関係を築き、互いに理解し、信頼し合おうとする心情を育てる。

【指導の要点】

学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合うことで信頼感や友情が生まれ、よりよい友達関係を築くことができることに気付かせる。導入や展開の後段で友達のイメージを問うたり、自分自身の考えがどう変化したかを捉えさせたりしながら、友達の存在についての考えを深める。

【主題に関わる児童生徒の実態】

本学級の児童は、活発な児童が多く、友達と遊ぶことを毎日何よりも楽しみにしている。友達を遊びに誘ったり、困っている友達に声をかけたりする姿もたくさん見られる。しかし一方で、自己主張が強く、相手の気持ちを考えたり、寄り添ったりすることができず、不正に対する批判をしたり、人を非難したりしてトラブルになることや、自分の利害にこだわった行動をすることが多々ある。自身の中ではいけないとわかっていながら、ついつい、いけないことをしてしまうことから、考えていることを行動に移すことの難しさを感じている。友達の心情を考えることや自分がどのように接すればよいかを自己に問うことなど、相手の身になって行動したり接したりする態度を育てたい。

【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・自分だけが犠牲になればいいわけではないけど、青おにのように相手のことを思って行動ができる人になりたいと思いました。
- ・友達がいてくれることのありがたさを感じました。いなくなった後では遅いから、普段から友達がいることが当たり前ではなく、感謝するように心がけたいです。
- ・赤おにのことが何よりも大切な青おに、青おにがかけがえのない存在であることに気づいた赤おに、二人の友情が素敵だなと思いました。
- ・自分の普段の遊びなど振り返ってみると、いつも我慢してくれている人がいたのかもしれないと思いました。これからは、そんな人が出ないように気持ちを考えて行動したいです。

指導上の工夫

板書計画（ポイントのみ）

自分自身との関わりで考えるための工夫

導入で友達との関係について振り返り、終末で再度考えることで、自身の価値に広がりや深まりをもたせる。

多面的・多角的に捉えるための工夫

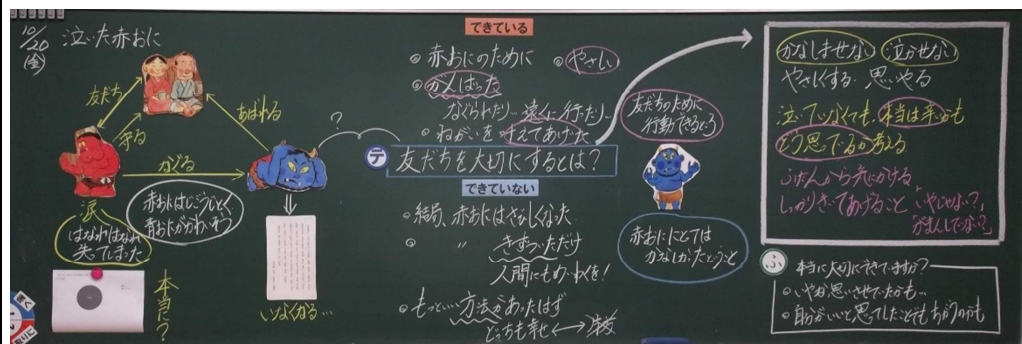
人間と仲良くなりたいという自己の為の目的をもった赤おにと赤おにを手助けしたいという他者の為の目的をもった青おに、人間などそれぞれの立場や関係性などについて話し合いながら、友情の在り方について考える。

主題に迫るための工夫

友達との関係性や友達の存在意義を考えたり、自身の友達への価値観の再構築をしたりできるようにする。また、視覚的に思考の流れが分かる構造的な板書にする。

ICT 活用

事前のアンケートや、立場を示す際にICTを活用する。



【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応												
導入	○友だちは大切だと思いますか？ 友だちを大切にできていますか？（事前アンケート）													
展開	<p style="text-align: center;">テーマ：友達を大切にする</p> <p>○青おには赤おにのことを大切にできていましたか？ ・教材における赤おに、青おにそれぞれの立場をおさえる。ICTを用いて、一人一人に意見を持たせ、その理由を全体で共有する。</p> <p>◆人間と友達になれて嬉しいはずなのに、どうして泣いているの？できている ◆でも赤おにの願いは叶ったよ？できていない ・それぞれの立場に揺さぶりをかけることで、多面的・多角的な意見を引き出す。 ・議論の終着点として、青おにのよかったところ、よくなかったところを再共有する。</p>	<p>できている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤おにのためにがんばった。 ・なぐられたり、遠くに行ったりして、体をはった。 ・赤おにの願いを叶えてあげた。 <p>できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤おには結局さびしくなっただけ。 ・青おには勝手にいなくなってしまった。 ・もっといい作戦があったはず。 <p>◆に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達にはなれたけど、結局離れ離れになった。 ・赤おにの願いは叶ったけど、青おには犠牲になった。 ・本当にうれしかったわけではない。 												
	<p>○友達を大切にするとは、どういうことですか？（児童の思考の流れを意識しながら、揺さぶりをかける。その中で自らの弱さなどの本音が語れるようにする。）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>・児童生徒の反応 ○問い返し、揺さぶりの発問</td> </tr> <tr> <td>第一段階 表面的</td> <td>・傷つけない・泣かせない・優しくする・思いやる</td> </tr> <tr> <td>揺さぶり</td> <td>○相手が泣いていなかったら、大切にできているということ？</td> </tr> <tr> <td>第二段階 抽象的</td> <td>・それはわからない・本当は嫌で我慢しているのかも ・泣いていなくても辛いのかも</td> </tr> <tr> <td>揺さぶり</td> <td>○本当の心をわかるためには、どうしたらいいかな？</td> </tr> <tr> <td>第三段階 具体的で深い</td> <td>・普段から、相手のことを気にかける。 ・本当はどう思っているのか聞く。「嫌じゃない？我慢してない？」 ・本当はうれしくないかもしれないから、二人でよく考える。</td> </tr> </table>		・児童生徒の反応 ○問い返し、揺さぶりの発問	第一段階 表面的	・傷つけない・泣かせない・優しくする・思いやる	揺さぶり	○相手が泣いていなかったら、大切にできているということ？	第二段階 抽象的	・それはわからない・本当は嫌で我慢しているのかも ・泣いていなくても辛いのかも	揺さぶり	○本当の心をわかるためには、どうしたらいいかな？	第三段階 具体的で深い	・普段から、相手のことを気にかける。 ・本当はどう思っているのか聞く。「嫌じゃない？我慢してない？」 ・本当はうれしくないかもしれないから、二人でよく考える。	
	・児童生徒の反応 ○問い返し、揺さぶりの発問													
第一段階 表面的	・傷つけない・泣かせない・優しくする・思いやる													
揺さぶり	○相手が泣いていなかったら、大切にできているということ？													
第二段階 抽象的	・それはわからない・本当は嫌で我慢しているのかも ・泣いていなくても辛いのかも													
揺さぶり	○本当の心をわかるためには、どうしたらいいかな？													
第三段階 具体的で深い	・普段から、相手のことを気にかける。 ・本当はどう思っているのか聞く。「嫌じゃない？我慢してない？」 ・本当はうれしくないかもしれないから、二人でよく考える。													
終末	○あなたは普段、本当に友だちを大切にできていますか？ ・数名振り返りを発表させ、今後の生活に結び付くような問い返しを行い、全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけ犠牲になればいいわけじゃない。青おにのように相手のことを思って行動ができる人になりたい。 ・これまではあまり友達に感謝することがなかった。これからはいてくれることが当たり前と思わず、ありがたみを感じたい。 ・自分の遊びなどを振り返ってみると、いつも我慢してくれている人がいたのかもしれないと思いました。 												

【評価の視点】・自分の生活場面を振り返り、よりよい友達関係を構築するためには、どうしていけばよいか考えている。（自己との関わり）

・友情について、赤おにの心情や青おにの行動の背景、そして自身の価値観のように様々な視点で考えている。（多角的・多面的）